

ノリ養殖環境速報 KH-04-09 (播磨灘)

令和5年1月23日 調査
 令和5年1月24日 発行

【概況と今後の動向見込み】

表層のDIN濃度は、東部、西部海域ともに前回よりやや低下しており、河川水の影響がある北部沿岸の一部の定点を除き、非常に低い値です。大型珪藻のユーカンピアが北部沿岸域を中心に広い範囲で増加しています。コスキノディスクスワイレシーの細胞数は少なめです。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並みか平年より多い見込みとされており、ユーカンピアの今後の発生状況によっては、DIN濃度は低い状態が続くと予想されます。

- ・兵庫県の情報：<http://www.hyogo-suigi.jp/>
- ・岡山県の情報：<https://www.pref.okayama.jp/page/684505.html>
- ・香川県の情報：<https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

【次回】 令和5年2月3日発行予定
 【参考】 栄養塩の単位
 $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【表層水温(°C)】

白浜以西：9.1 ~ 10.5，家島諸島周辺：10.0 ~ 11.2，江井ヶ島・高砂周辺：10.5 ~ 10.9，
 明石海峡付近・西浦：11.2 ~ 12.0，鹿ノ瀬周辺：10.9 ~ 11.6



